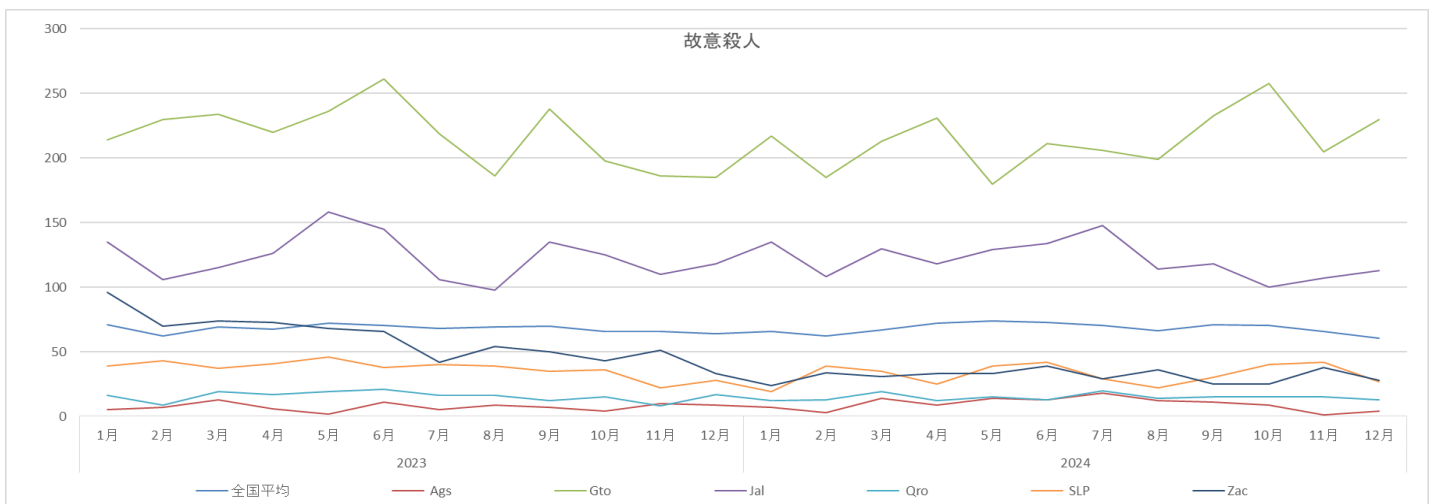
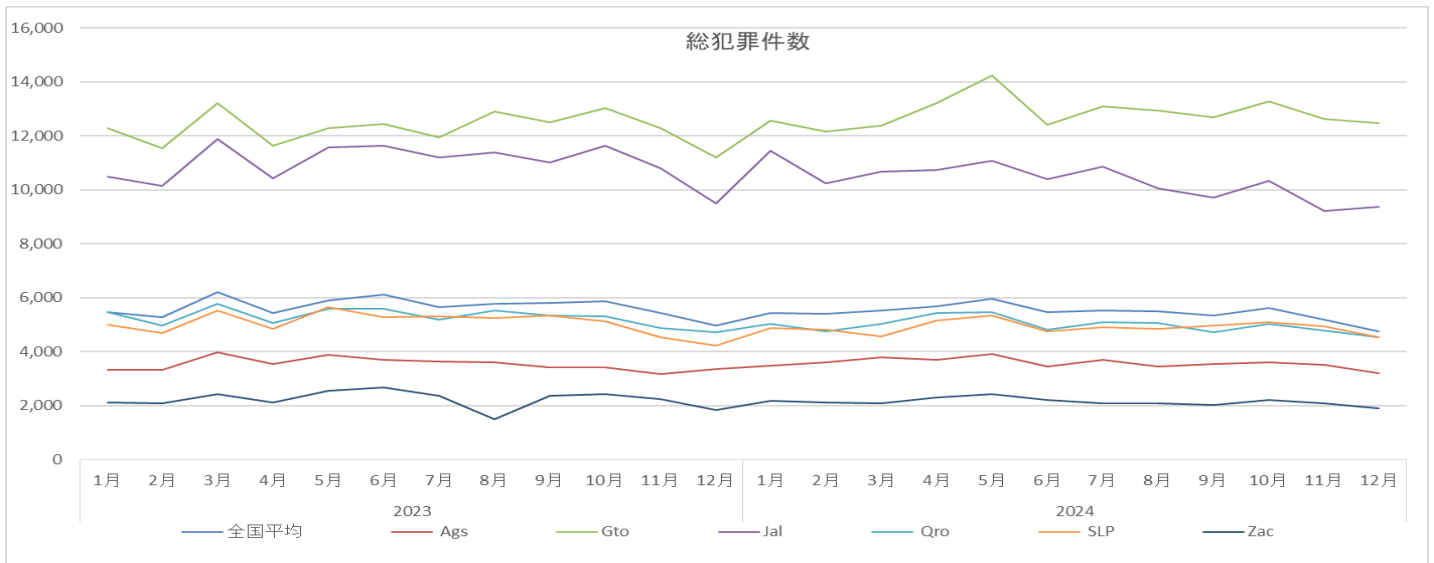


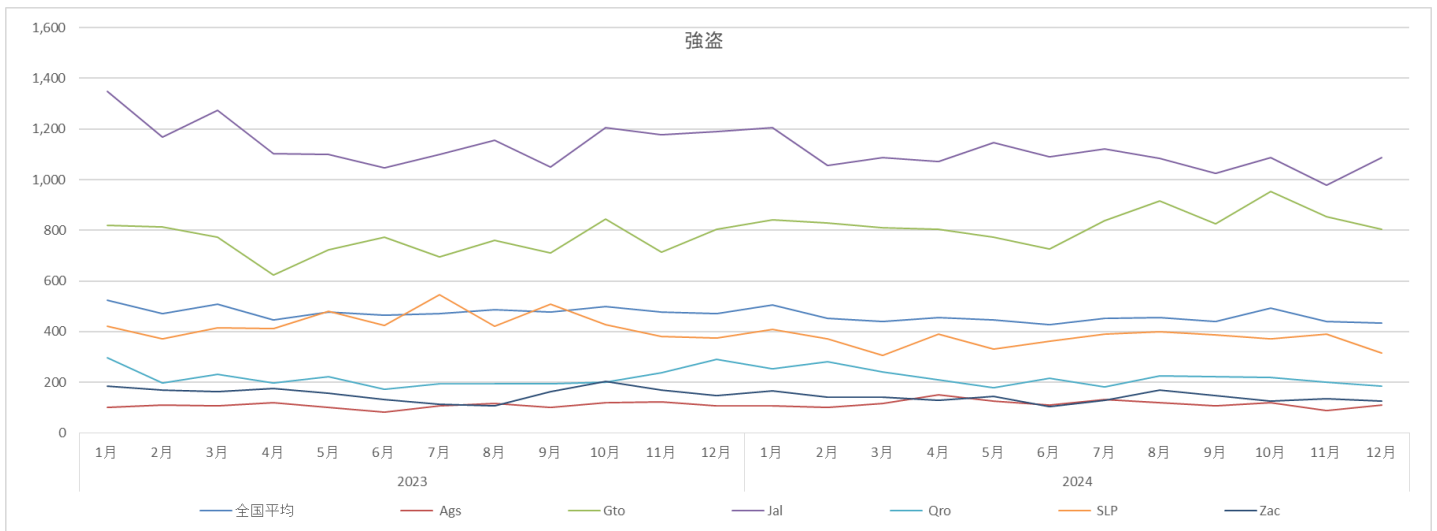
1 治安・社会情勢

メキシコ国内では複数の麻薬カルテルが存在しており、殺人の多くは麻薬カルテルによる抗争が大きく関係していると言われています。特にグアナファト州は、サンタ・ロサ・デ・リマ・カルテル（CSRL）とハリスコ新世代カルテル（CJNG）との抗争が数年間続いている影響もあり、殺人が最も多く発生している州であり、2024年は2,568件で全国1位でした。近年ではCSRLは弱体化していると言われておりますが、CJNGがCSRLの支配地を奪おうとして抗争が活発化している地区もあり、抗争はしばらく続くと考えられます。一般的には、カルテルの標的は麻薬関係者などの犯罪組織に関わる者や治安当局関係者と言われておりますが、カルテル同士の銃撃戦に一般市民が巻き込まれる可能性があるほか、誤認により殺害されるケースも見られるため十分注意が必要です。

グアナファト州では特にセラヤ市からアパセオ・エル・グランデ市周辺の連邦高速道路45D号線で、車両強盗事件が多発しており、邦人も多数被害に遭っているほか、レオン市など邦人が多く在住する都市においても殺人事件が増加しているとの報道もあります。

メキシコではいずれの州においてもカルテルが活動しており、複数のカルテルが1つの州内で活動しているのがほとんどで、カルテル同士で協定を結び上手く棲み分けしている州（地域）は殺人が少ない傾向にあります。グアナファト州やサカテカス州のように、何かのきっかけで抗争が始まり、治安が急激に悪化した州もあります。また、一般的に治安が安定していると言われる州においても、カルテルの犯行と思われる犯罪や誘拐事件などが発生しておりますので、治安情報は常に新しい情報を入手するよう心掛けて下さい。





2 管轄地域内における一般犯罪の傾向

(1) グアナフアト州

・人口約616万人 犯罪認知総数（10月～12月）38,375件

殺人の件数は2022年から増加傾向にあり、引き続きカルテルによる事件は継続すると考えられます。当地報道によると、特にセラヤ市ではカルテルの抗争により、2024年8月は被害者が80人を超える殺人事件が発生しております。また、強盗被害も依然として多く発生しており、都市間の移動は時間帯など考慮して運行計画を立てる事も重要ですが、通勤時間帯に車両強盗被害に遭う事件も継続して発生しており、一般的な対策だけでは防ぐことができません。更に、同地域では高速道路上（特に連邦高速道路45D号線）での強盗被害も多く、2024年1月から12月までの邦人被害は6件発生（当館へ報告いただいた被害のみ）。被害者の国籍に関係無く、SUVタイプ、ピックアップタイプの車両が狙われやすい傾向にあります。

走行中の車両に犯人車両が並走し銃器で脅して車両を強奪する事件や、被害者が一時的に犯人車両に監禁される事件、さらには強盗目的で歩道橋から投石し、車両を強制的に停車させるような手口による事件が日中・夜間関係無く発生しています。万が一同被害に遭ってしまった場合は、相手を刺激せず命を守るような行動をとって下さい。

・邦人被害（10月～12月）5件（車上狙い被害3件 強盗（車両）被害2件）

●車上狙い被害

10月17日21時頃、邦人男性（企業駐在員）がレオン市プント・ベルデ地区の飲食店で食事を終え、車両へ戻ったところ、運転席側後部座席の窓ガラスが割られていたことに気がついた。車内には貴重品など何も置いていなかったため、ガラス破損被害のみであった。飲食店には駐車場がなく、店前に駐車しており、店から車両が見える位置に座って食事をしていた。

10月23日21時頃、邦人男性1名（企業駐在員）が自宅（レオン市マジョラスゴ地区）近くのコンビニエンスストアで10分程度買い物をして車両へ戻ったところ、車両左側後方の窓ガラスが割られていた。車内には貴重品などは置いていなかったため、ガラス破損被害のみであった。

11月20日21時頃、邦人男性（企業駐在員）がレオン市内の飲食店で食事をした。その後車両へ戻ったところ、運転席側後部座席の窓ガラスが割られていたことに気がついた。車内、トランクには貴重品など何も置いていなかったため、ガラス破損被害のみであった。飲食店には駐車場がなく、路上駐車していた。

→ 車上狙いに遭わないためにも路上駐車はせず、公共の駐車場を利用してください。路上駐車となることが事前に分かった場合は、自家用車を利用せず、配車アプリ等の利用を検討してください。

●強盗被害

10月5日12時頃、邦人女性2名（永住者）が車両（SUV）を運転し、サラマンカ市からケレタロ市へ高速道路を走行中、白い車両（ナンバープレート無し）が邦人女性の運転する車両に並走し、窓を開けて停車

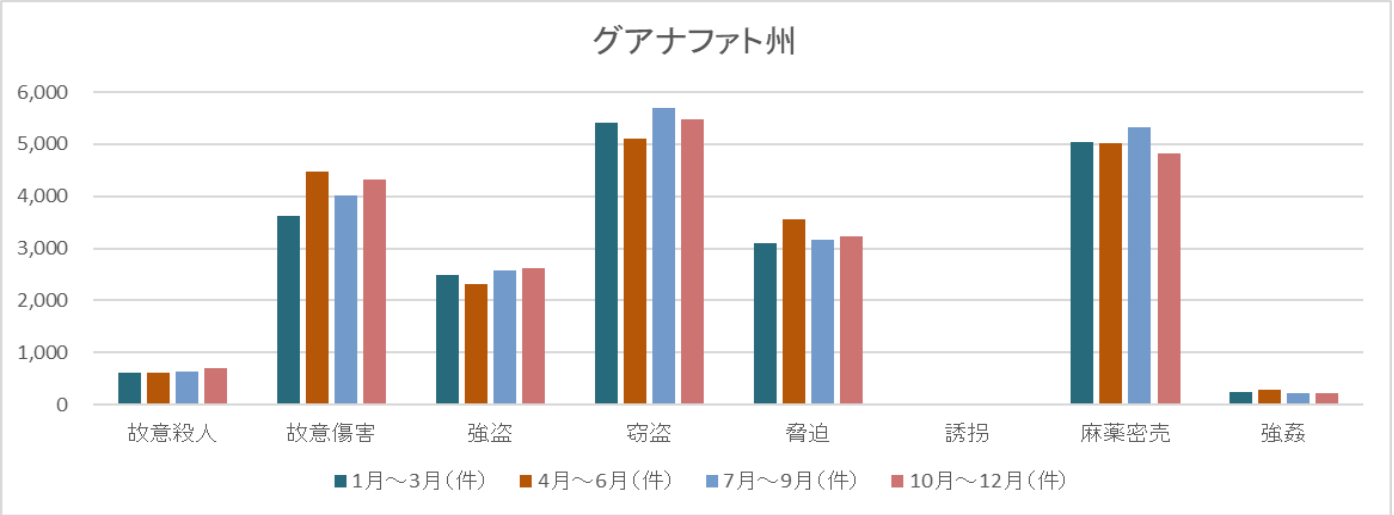
するように指示。犯人たちの車両が邦人女性の運転する車両の前方に停車。その後、後方から男女2人が乗ったバイクに横付けされた。犯人車両から男性2人が降りてきて銃のようなもので脅されたが、運転していた邦人女性が自身の車両の後方が空いていることに気づき、犯人たちの隙を狙って車両をバックさせ逃走した。

停車した現場は、ケレタロ州境の料金所からおよそ5分の位置であり、料金所を通過したのち、犯人たちは追ってくることは無かった。

10月17日7時30分頃、邦人男性1名（企業駐在員）が車両（SUV）を運転し、ケレタロ州方面からレオン市方面へ高速道路を走行中、アパセオ・エル・グランデ工業地帯周辺（連邦高速道路45D号線）にて、犯人2名が前方の車両を襲っている現場に遭遇。犯人に襲われていた前方の車両は停止し、バックで逃げようとしていたため、邦人男性の車両もバックで逃げることを試みたが、後方に他の車両がいたため、バックができなかった。その後、ライフルを所持した犯人2名が邦人男性の車両に近づいてきたが、犯人の隙を狙って犯人たちの間をすり抜け逃走した。逃走の際に、後方から犯人たちはライフルで邦人男性の車両に向けて発砲し、車両後部に4発の銃撃を受けたものの、邦人男性に怪我等はなかった。

→ 車両強盗の多くは、拳銃の使用や道路を塞ぐなど手荒な犯行がほとんどです。また、強盗に遭った際は、抵抗することなく犯人の要求に応じ、犯人を見つめたり、追いかけたりする等、犯人を刺激するような行動は避けて下さい。

■主な犯罪	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)
殺人	615	622	638	693
傷害	3,622	4,481	4,020	4,328
強盗	2,480	2,306	2,578	2,610
窃盗	5,401	5,109	5,704	5,470
脅迫	3,093	3,563	3,163	3,226
誘拐	2	4	3	0
麻薬密売	5,039	5,018	5,333	4,821
強姦	234	281	223	227



(2) アグアスカリエンテス州

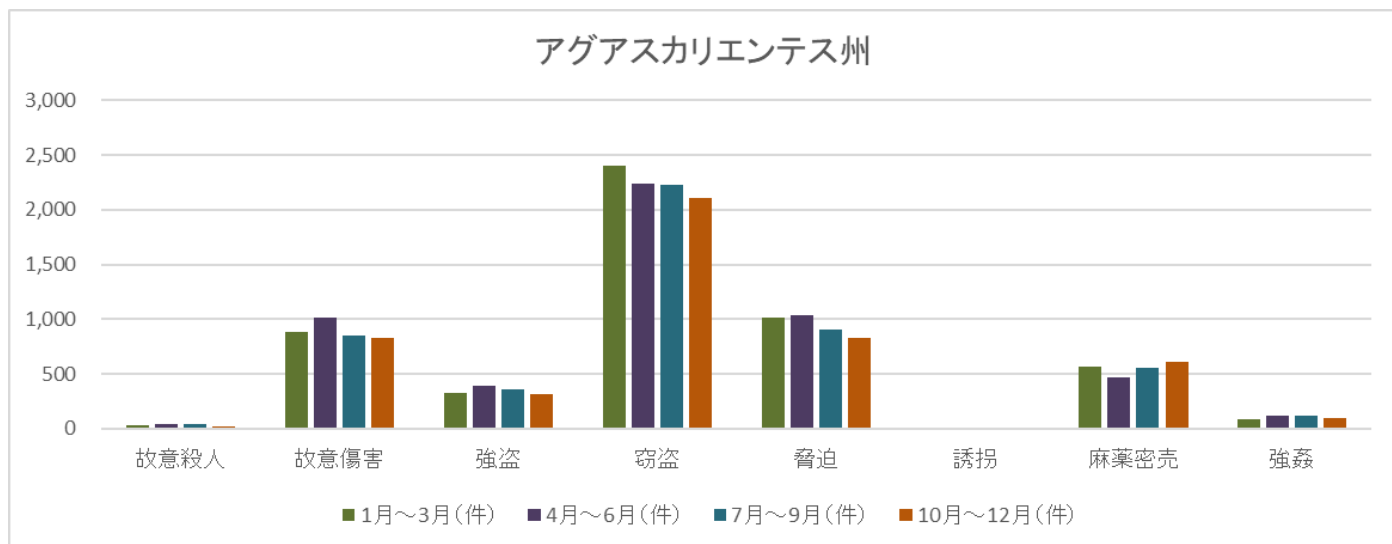
・人口約142万人 犯罪認知総数（10月～12月）10,297件

犯罪件数は少ない州ですが、犯罪発生率（人口の割合）では窃盗や強盗の割合が高い州です。犯罪の多くはアグアスカリエンテス市内で発生しており、窃盗の中でも特に車上荒らしは邦人被害が多いため、駐車する位置は人目の多いところを意識して選定し、貴重品は絶対に車内に残さないよう徹底して下さい。

・邦人被害（10月～12月）0件

10月～12月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)
殺人	24	36	41	14
傷害	883	1,014	847	827
強盗	323	388	360	318
窃盗	2,401	2,237	2,224	2,109
脅迫	1,012	1,038	902	826
誘拐	1	0	0	0
麻薬密売	563	462	551	605
強姦	84	115	119	99



(3) ハリスコ州

・人口約 834 万人 犯罪認知総数 (10 月～12 月) 28,906 件

窃盗及び強盗が非常に多く発生している州です。強盗は邦人被害件数も多い犯罪で、銃器を使用した犯行となっていることから、一歩間違えれば身体へ危害を加えられる可能性も非常に高く、注意が必要です。高速道路路上でも被害が発生しており、とりわけ早朝や夕方、人通りの少ない道路や店舗の利用は極力避けるなどの対策が必要です。旅行者、出張者と分かるような格好はターゲットにされるリスクも高くなりますのでご注意ください。

・邦人被害 (10 月～12 月) 1 件 (窃盗 (路上) 被害 1 件)

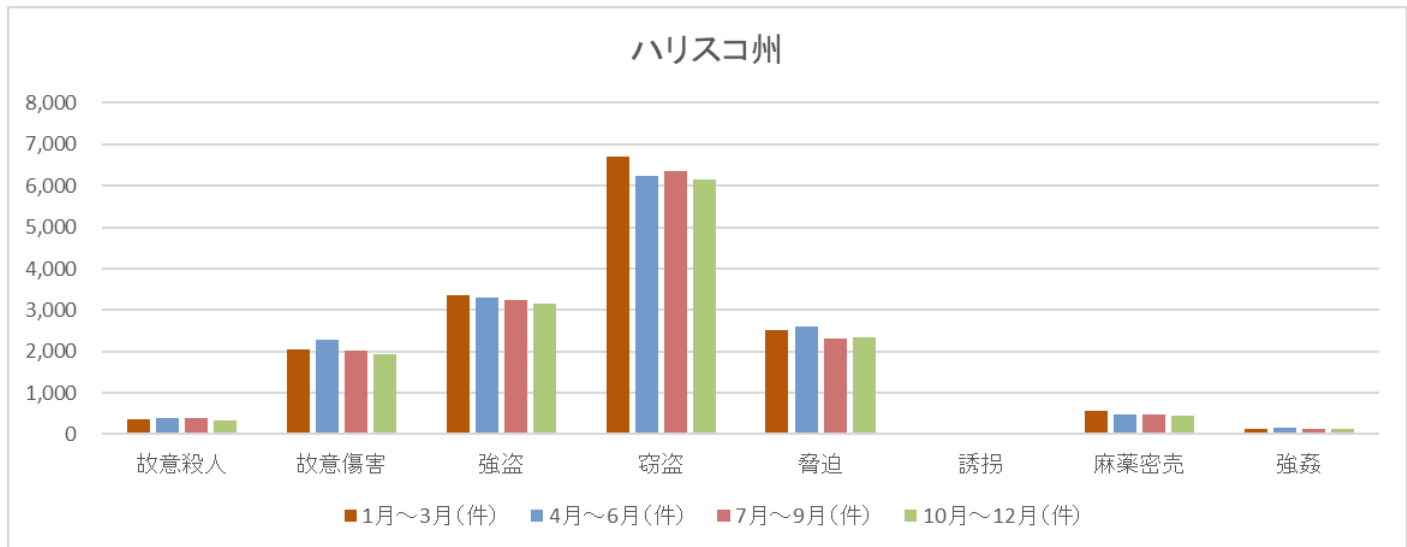
●窃盗被害

12 月 13 日 21 時頃、邦人男性 (企業駐在員) がハリスコ州グアダハラ市内の横断歩道で信号待ちの際にスマートフォンを操作していたところ、右手側よりバイクに乗った 2 人組にスマートフォンを強奪された。邦人男性に怪我は無かった。

→ 携帯電話を使用する際は周囲を警戒し、ひったくられないように注意しましょう。また、携帯電話を見ながら歩いたりするといった行為は犯人に目をつけられる可能性があるため、十分注意してください。

■主な犯罪	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)
殺人	373	381	380	320
傷害	2,055	2,277	2,029	1,942
強盗	3,349	3,306	3,230	3,151
窃盗	6,697	6,246	6,346	6,149
脅迫	2,529	2,601	2,301	2,349
誘拐	3	5	2	3

麻薬密売	571	481	477	457
強姦	130	150	142	133



(4) ケレタロ州

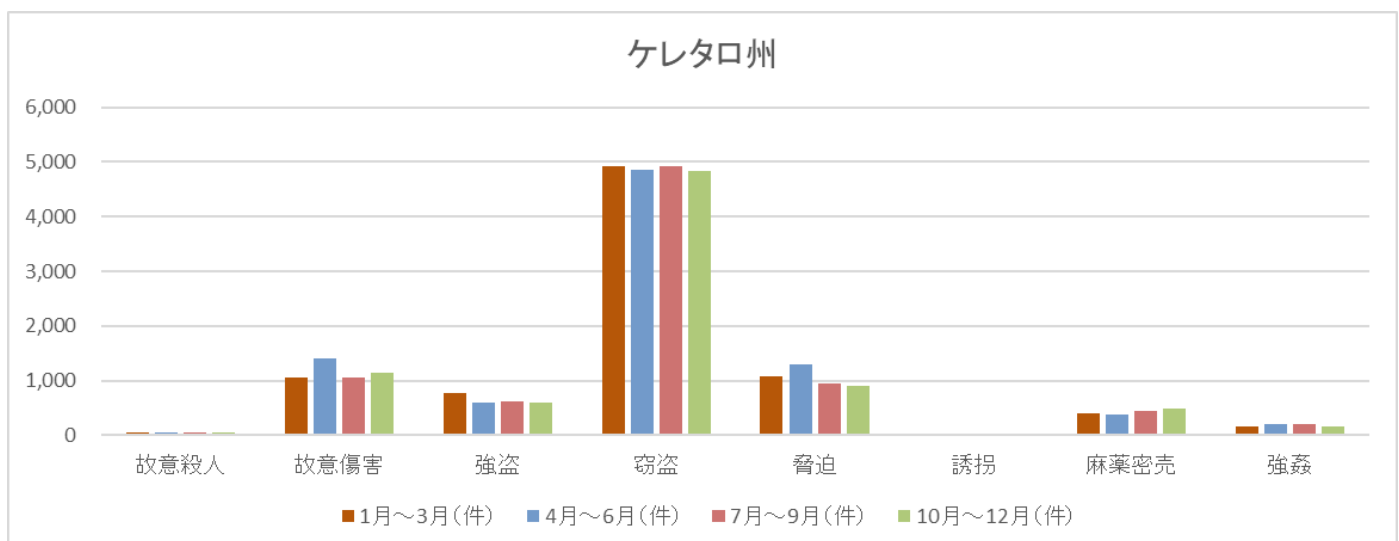
・人口約 236 万人 犯罪認知総数 (10 月～12 月) 14,357 件

殺人の件数は少ないですが、犯罪の多くがケレタロ市内で発生しており、強盗・窃盗が多く発生しています。隣接しているグアナフアト州やメキシコ州の治安が悪いため、州境での車両強盗被害も目立ちますので注意が必要です。都市間の移動については、高速道路を利用して下さい。

・邦人被害 (10 月～12 月) 0 件

10 月～12 月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	1 月～3 月 (件)	4 月～6 月 (件)	7 月～9 月 (件)	10 月～12 月 (件)
殺人	44	40	49	43
傷害	1,061	1,406	1,057	1,134
強盗	774	605	629	606
窃盗	4,932	4,867	4,916	4,845
脅迫	1,073	1,292	956	897
誘拐	2	0	2	1
麻薬密売	400	379	435	483
強姦	157	196	198	149



(5) サンルイスポトシ州

・人口約282万人 犯罪認知総数（10月～12月）14,554件

強盗件数は年々増加傾向となっており、その発生率（人口の割合）も高くなっています。また、麻薬に関連する犯罪も顕著に増加しており治安が悪化する傾向にあります。今のところ、目立ったカルテルの抗争は見られませんが、州東部では移民を狙ったと思われる誘拐事件也多発しておりますので、十分注意をして下さい。

・邦人被害（10月～12月）2件（車上狙い被害2件）

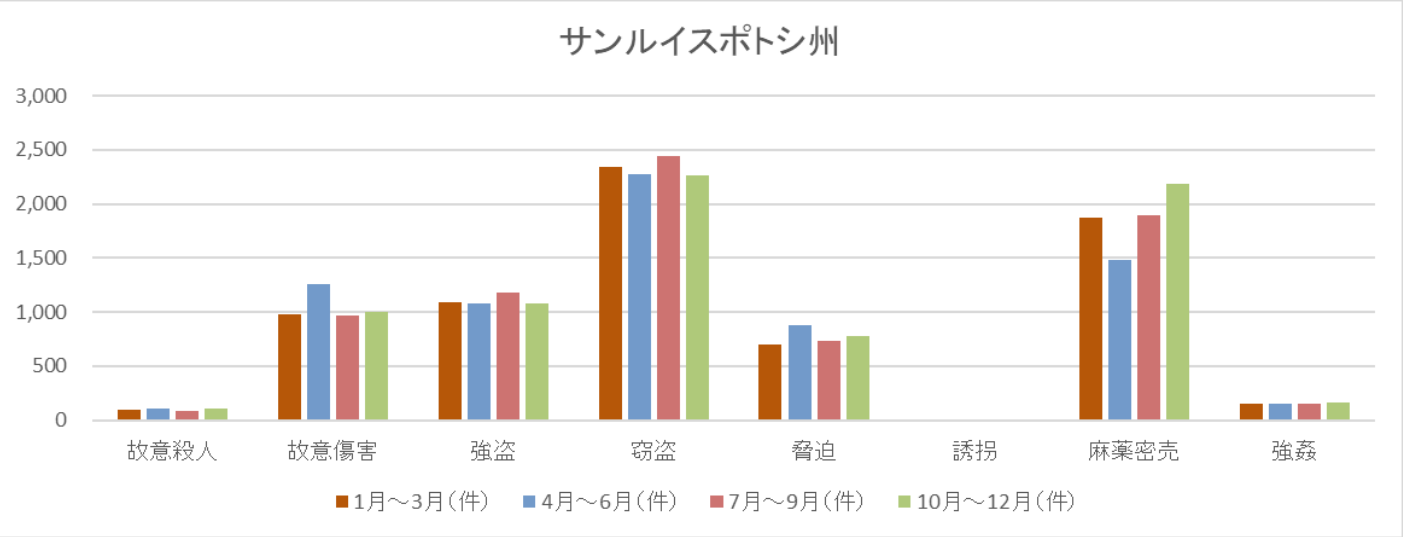
●車上狙い被害

10月22日20時頃、邦人男性4名（企業駐在員）がサンルイスポトシ州に車両で出張し、サンルイスポトシ市内の宿泊ホテルの駐車場に駐車して食事に出かけた。食事後にホテル駐車場に駐車していた車両を確認すると、車両左側後方の窓ガラスが割られており、車内後部座席に置いていた工具類全てが盗まれていた。なお、ホテル駐車場には警備員は居なかった。

12月5日15時頃、邦人男性（企業駐在員）がサンルイスポトシ市内の飲食店に30分程入店。車両は飲食店の駐車場に駐車してあった。車両に戻ったところ、助手席側後部座席の窓ガラスが割られていたことに気がついた。車内、トランクには貴重品など何も置いていなかったため、ガラス破損被害のみであった。

→ ホテル敷地内の駐車場であるとはいえ安心できません。できる限り安全対策が万全なホテルを選んでください。また、車上狙いに遭わないためにも路上駐車はせず、公共の駐車場を利用してください。

■主な犯罪	1月～3月(件)	4月～6月(件)	7月～9月(件)	10月～12月(件)
殺人	93	106	81	109
傷害	976	1,254	972	998
強盗	1,086	1,083	1,179	1,079
窃盗	2,342	2,280	2,442	2,258
脅迫	703	877	736	782
誘拐	2	0	2	0
麻薬密売	1,878	1,477	1,891	2,180
強姦	157	156	153	159



(6) サカテカス州

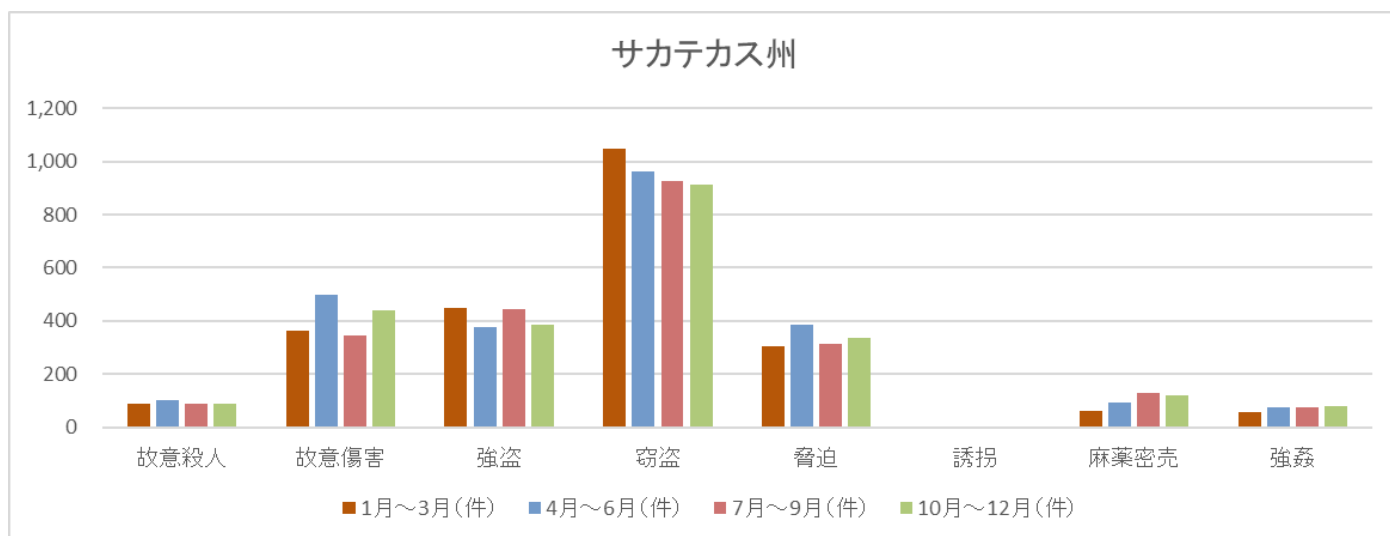
・人口約162万人 犯罪認知総数（10月～12月）6,196件

殺人の発生率（人口の割合）は、他の州と比べても非常に高い数値となっています。殺人の多くは麻薬関係者と言われていますが、サカテカス州では複数の麻薬カルテルが抗争を行っているため、十分注意が必要です。

・邦人被害（１０月～１２月）０件

１０月～１２月の邦人被害報告はありませんでした。

■主な犯罪	１月～３月(件)	４月～６月(件)	７月～９月(件)	１０月～１２月(件)
殺人	89	105	90	91
傷害	363	498	345	442
強盗	451	378	445	388
窃盗	1,046	960	926	912
脅迫	306	386	314	336
誘拐	3	1	2	3
麻薬密売	61	93	129	123
強姦	56	76	75	80



3 安全に関わる諸問題及び対応策

- (1) メキシコ国内では、麻薬に関係する犯罪組織の抗争が活発化しており、これら組織が関与した発砲事件や殺人事件、警察官を直接狙った襲撃事件も発生しています。それら事件に巻き込まれないためにも、夜間の外出やそれら組織関係者が集まるようなバーやクラブ等の出入りについて極力避けるとともに、違法薬物には一切かかわらないことが大切です。また昼夜を問わず一般市民が利用する公共の場所においても、発砲事件に遭遇する可能性は十分に考えられるため、普段から周囲の状況に注意して下さい。
- (2) 銃器を利用した強盗も増加しているため、このような事件に巻き込まれないためにも発出される領事メール等を参考に、行動の制限（犯罪が多発する時間帯の外出制限、事件多発地域の通行を避ける等）を行うことで、被害に遭うリスクを下げるのが重要です。また、銃器を利用した車両強盗事案では、メキシコ人被害者が抵抗したために撃たれる殺傷事件が少なからず発生しています。万が一にも事件に遭遇した際は、抵抗せず犯人の指示に従って下さい。
- (3) コンビニエンスストアやレストランの駐車場における車上荒らしが引き続き発生しており、これら店の立地や利用する時間帯に注意するとともに、車両を離れる際は貴重品を放置しないよう注意が必要です。
- (4) バヒオ地域内では、車上狙い被害や連邦高速道路45D号線上の強盗被害が目立ちます。連邦高速道路45D号線を利用する際は、可能な限り日中移動と複数人、複数台で行動し、行動スケジュールを家族、友人、会社へ事前に伝えておくことや、緊急連絡先をメモし携帯しておく、グアナファト州警察が提供するアプリ「EmergenciasGT0911」をダウンロードしておく、などの対策を検討下さい。万が一強盗被害に遭遇してしまったら、気持ちを落ち着かせましょう。犯人は拳銃等を所持している可能性が非常に高い

ため、絶対に抵抗することなく犯人の要求に従い、まずは自分自身の命を守ることを優先して下さい。
犯人から解放されたら、周囲に助けを求め、9 1 1 番（警察、消防、救急への緊急通報番号）に通報するとともに、検察局に被害届けを提出して下さい。

4 その他

事件事故に遭った際は必ず9 1 1 番通報を行うよう心掛けて、検察局（Fiscalía General）に被害届を提出して下さい。被害届を提出しない場合は、発生した犯罪が事件化されないため、犯罪者が野放しとなります。

同時に管轄する大使館及び総領事館にも被害報告をしていただければ、日本人の皆様に注意喚起することができます。また、治安当局に対して事件の再発防止等を当館から訴えることができますので、ご協力をお願い致します。

5 バヒオ地域以外における日本人被害の犯罪発生状況

在メキシコ大使館ホームページの「安全情報」に邦人被害一覧を掲載していますので、ご参照下さい。

URL: https://www.mx.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/seguridad_anzen.html

以上